

## 2024.03.10. 患難前携挙の実践的な準備

### ユダの手紙 1 章 20 節から 23 節

#### JD ファラグ牧師

主よ、私たちはあなたにこの時間をお捧げします。主よ、私たちはあなたにすべての賛美と栄光をお捧げします。主よ、あなたの祝福を感謝します。主よ、私たちにあなたの御言葉を与え続けられ、JD 牧師があなたの御言葉を伝える時、私たちの心と思いをあなたに向け続けさせてくださいますように。この時間をあなたに委ねます。イエスの御名によって、アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。ご着席ください。ご機嫌いかがですか？ 会衆：最高です！OK。わかりました。ー（笑）ー 悪くないです。オンラインの皆さんも参加くださり大変嬉しいです。始める前にお伝えしたいことが3つあります。1つ目は、先週、火曜日夜の祈り会の教へのリンクをウェブサイトに掲載しています。その中で、ご存知のように乳がんと闘っている私の妻についての称賛報告をしたからです。しかし、神は、、、神だけがお出来になるように、腫瘍を縮小させ、広がりや痛みを止めてくださっています。ー（拍手喝采）ー 主を褒め称えます。どうか祈り続けてください。私たちがこの結果のゆえんは、ひと言 『祈り』 です。皆さん、祈ってくださって本当にありがとうございます。ですから、やめなさい。諺にもあるように、私たちはまだ森から抜け出したわけではありません。私たちは本当に神を信頼しています。「しかし、神は。」（の証）です。神を称賛します。

次にお伝えしたいのが、木曜日の夜、スティーブ・サントス牧師と私の対談「イエスはラハイナを愛しておられる」パート2へのリンクです。地元でもオンラインでも特に、参加できなかった人は、ぜひご覧になるのをお勧めします。スティーブ牧師は力強く、祈って考えるべき多くのことを預言的にさえ語ってくれたからです。最後に、これはおもにオンラインの方々へです。古い機器を使用されている一部のアップルユーザーから、先週の「聖書預言・アップデート」にアクセスできず、ウェブサイト上の動画も閲覧できないという報告を多数受けました。私たちのチームは一刻も早くこの問題を解決すべく、たゆまぬ努力を続けています。しかし、皆さんのお祈りを切に願います。これは技術的なことよりも霊的なことかもしれないので、特に先週の「聖書預言・アップデート」の内容が、キリスト教ナショナリズムの欺瞞と新使徒改革神学の偽の教えに特化したものであったのを考えれば、尚更です。敵はそのためにそれを表に出したくないと言えるかもしれません。ですから、祈ってください。技術的な問題ではないかもしれません。私たちは技術的な面では取り組んでいますが、霊的な面では皆さんの助けが必要です。どうか祈ってくださいますか？ 私たちは、霊的な領域で、高みにいる邪悪で、非常に強力な実体と闘っているからです。とりあえず、再び、オンラインの方はサポートセンターへ行ってください。一般情報とお知らせのページでは、この件に関する最新情報を掲載しています。また、他の視聴オプションのリストもあり、そのすべてが完全に機能し、操作可能です。最後に、再度皆さんのご理解とご忍耐に感謝します。しかし、それ以上に重要なのは、私たちのために祈ってくださることです。

それでは、「ユダの手紙」20節から23節までの御言葉に入りましょう。1章と言わなかったのは、1章しかないからですけど、そこに1章と置きたいのは、私が気になるからで、ご存知、ある人たちはそうですね。私は誰とも目を合わせません。「ユダの手紙」22節、23節とだけ言うなら、「待って。何章？」みたいになる人もいますね。いいえ、これは私たち幾人かの問題です。いいですか？ 皆さんの幾人かかも。ご自分でわかりますね。挙手をお願いしません。ですから、1章をそこに置きます。「1章 20節から23節」です。つまりこういうことです。主の御心なら、もし私たちがまだここにいるなら、来週、私たちはこの短い書、「ユダの手紙」を学び終えます。来週日曜日です。でしょ？ 今週の木曜日、主の御心なら、もし私たちがまだここにいるなら、私たちは「エゼキエル書」を学び終えます。何が言いたいかわかりますね？ そこに行ってもいいですか？ いいですね。よし、そうしましょう。そうすると、木曜日の夜は「ダニエル書」、日曜日の朝は「ヨハネの黙示録」を同時期に学び始めます。しかし、携挙はその前に起こりますけど。ですから、、、そんなタイミングを計るほど私が賢いとは思わないでください。ご勘弁ください。私ではありません。主です。神は大変ユーモアのセンスをお持ちだと思います。私は神にそれについて尋ねました。私は言いました。OK。待って。再度、私はそんなに賢くないし、スマートじゃありませんけど、祈りました。「ダニエル書」と「ヨハネの黙示録」を始められたら良いと思いませんか？ 私が祈らなかったのは、

因みに、「主よ、『ダニエル書』を読むまでお戻りにならないでください。」とは。長い時間がかかるからです。私は主が戻られるのにそんなに長く待ってたくありません。先週の木曜日にスティーブ・サントス牧師が来られて、今週の木曜日、「エゼキエル書」最後の2章47章と48章にぴったりのタイミングだと判明しました。そして、来週、最後の、、、計算しないと。「ユダの手紙」は2節か3節が残りだと思います。そして、次の木曜日と次の日曜日に、私たちは、「ダニエル書」と「ヨハネの黙示録」を通しての節ごとの素晴らしい学びを始めます。最後の1つです。なんてイカしているんでしょうね？ で、前置きはほとんどおしまいです。まだ今日の箇所にも入っていません。が、「ダニエル書」は旧約聖書の「黙示録」と愛称されてきました。私たちはその「書」に入ります。そのようなタイミングを計ることができたのは神だけです。私は大変ワクワクして、待ちきれません。楽しみにしています。ああ、お楽しみが待っています。OK。

すでに進行中の聖書の学びに戻ります。20節から始めます。可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら、座ったままでも結構ですので、私が神の御言葉を朗読するのについてきてください。ユダは興味深いことに、これからまた新たな角を曲がろうとしていて、ユダはかなり生々しいこの描写を終えたばかりで、この人たちがどんな様相か、どのようになるのか、恐ろしい描写です。どんな人たちなのか？ このような人たちは、教会にこっそり忍び込み、大混乱を引き起こし、私たちの唯一の主、主権者であられるイエス・キリストを人々に否定させます。「この人たち」は大変危険です。実際、ユダがこの手紙を書き始めたとき、彼はまず、私たちが共有している共通の救いについて書こうとしました。そうだったら、どんなに素晴らしい手紙だったでしょうか。私たちはただ、私たち全員が持つ共通の救いを喜ばばいいだけで、神はその途中でユダを方向転換させられ、こう仰いました。「いいえ、ユダよ、あなたは、この内容を書く必要性があって、重要なレベルにまで高まっています。共通の救いについてではなく、こういう人たちについての警告として。」ですから、今、ユダは、「この人たち」がゆえに彼らがどのように見えるか、から、私たちがどうすべきかに焦点を移します。20節でそれを取り上げます。

#### ー ユダ 1:20 ー

しかし、愛する者たち。あなたがたは自分たちの最も聖なる信仰の上に、自分自身を築き上げなさい。聖霊によって祈りなさい。

#### ー ユダ 1:21 ー

神の愛のうちに自分自身を保ち、[注目]永遠のいのちに導く、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。

#### ー ユダ 1:22 ー

ある人々が疑いを抱くなら、その人たちをあわれみなさい。

#### ー ユダ 1:23 ー

ほかの人たちは、火の中からつかみ出して救いなさい。また、ほかの人たちは、肉によって汚された下着さえ忌み嫌い、神を恐れつつあわれみなさい。

祈りで締めくくりましょう。これは自明の理だと思います。違います？ では祈りましょう。

お父様、わお、、、ユダにこれを書くように導いてくださり感謝します。一読しただけでも、ここに私たちが注意を払うべき何かがあることは明らかです。ですから、そのために、聖霊が私たちの教師、導き手となられ、私たちの前にあるこの箇所の御言葉を通して、導いてくださる必要があります。主よ、これは明らかにこんにちの私たちへの警告です。特に、私たちが生きている終わりの日のこの世において。ですから、主よ、私たちはあなたに求めつつ、あなたの御前で姿勢を正します。主よ、聖霊によって、私たちの注意を引き、思いが彷徨わないように、私たちの注意を保ってください。それがまさに敵の狙いだからです。特に、ここのこの箇所です。ですから主よ、喧騒の邪魔から私たちを遠ざけてください。そうすれば、私たちはあなたが私たちの人生に語ってくださる時あなたに全集中できます。それが、あなたが今日、御言葉において私たちにご用意しておられることです。主よ、あなたがそうしてくださる時、私たちはそれを受け取りたいのです。私たちは、確かに聞く耳を持ちたいのです。しかし、もっと重要なのは、受け入れる心を持ちたいの

です。私たちがこう言われる人たちの中に数えられるように。

「彼らは御言葉を聞くだけでなく、御言葉を行う者である。」と。(ヤコブ 1:22 参照)


ですから主よ、私たちのためにそうしてくださいますか？ 語ってくださいますか？ 主よ、お語りください。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。OK。今日、私たちの目の前にあるのはかなりの箇所です。同意されますか？ ですから、ユダは、聖霊に導かれ、私たちに戒め、警告しているだけでなく、また患難前携挙を待つ私たちを励まします。

「ああ頼みますよ、JD 牧師。あなたは、患難前携挙が、聖書全巻のすべての章のすべての節にあると

分かるのですか？」はい、分かります。どうです？ 私はあなたが何を考えているのかわかります。あなたの思いを読むことができるから。待つ。何か浮かんで来ます。うわお！ いやいや(苦笑)あなたが考えていることがわかります。

「頼みますよ。この箇所からどうやって患難前携挙が分かるのですか？つまり、患難前携挙がどうこの箇所に入っているのですか？ そうすべきではないのでは？ それを表す御言葉はあるのですか？」

確かにあります。あなたが私をそのように誤って非難する前に、念の為、謙虚にお願いします。21節をもう1度聞いていただけますか？ もう1度読みます。これを聞いてください。ユダは聖霊に導かれこう書きます。神の愛のうちに自分自身を保ち、[注目 

]永遠のいのちに（あなたを）もたらす（導く）、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。（ユダ 1：21）

それが携挙です！ 叫ぶようで申し訳ないですけど、それが携挙です。それが私の話で、私はそれにこだわっています。携挙はその箇所であり、私がそれを挿入していません。すでにそこにあります。どうしてそうなるのか？ 留意ください。「～へ、あなたをもたらす（導く）」私たちをどこにもたらす（導く）のですか？ おお～！ イエスが仰るその場所、主は、住むところがたくさんある御父の家に私たちのために準備しに行かれます。もしそうでなければ、主は私たちに仰らなかつたでしょう。（ヨハネ 14：2参照）

主は私たちのためにこの場所を用意しに行かれます。主がおられる場所に、私たちもいるようにされるために。（ヨハネ 14：3参照）

なぜ？ 主は私たちをそこに連れて行かれるからです。私たちはただ待たねばなりません。私たちは熱心に待ち望みます。それが私たちが待ち望んでいる携挙です。このようです。ちなみに。

これを見逃さないでください。：あわれみ。これは神のあわれみです。一瞬たりともずれることなく。これはあわれみの神からのあわれみで、キリストを拒絶するこの世から私たちを連れ出し、御父の家に私たちのために用意された場所へと連れて行ってくださいます。婚姻部屋です。ユダヤの結婚式の習慣では、2人は婚姻を祝い、婚姻完成するのは、、指を立てるときは気をつけないとね。気をつけないと、こんなふうにする人がいます。

「JDは悪魔のサインを出している。」と。いいえ、出していません。「7」です。ほら、片手全部で「5」何も問題はないです。そして、「2」。で、それが「7」です。完成数の「7」の期間。ですから、私たちが婚姻を祝い、完成させている間、この世は7年間の患難時代です。7年の最後に、花嫁と花婿はその婚姻部屋から夫婦として現れ、盛大な結婚披露宴を開きます。子羊の婚宴です。それだけでも、皆さん。天の食べ物。それが私が話していること！ 婚礼の祝宴は7年の後です。順番を乱さないでください。

「おお、それはすべて類型論で、JD、あなたは強調しすぎです。」私は自分自身と議論していますか？

OK。そうさせていただきます。

「あなたは類型論を強調しすぎています。それがまるで最も重要であるかのような言い方ですよ。」

実際にそうです。どういう意味ですか？ 類型論の重要性についてはモーセに聞いてください。その記述を覚えていますか？ 彼らは荒野にいます。「出エジプト記」（14：11）です。

再度、彼らは神とモーセに対して不平を言い、つぶやきました。理由は？ 飲む水がないからです。

「エジプトには十分な墓がなかったのか？ 神は私たちを殺すために、私たち全員をここに連れてこなければならなかったのか？」本当？「喉の渇きで死んでしまう。」「いいえ、死にません。モーセよ、こちらに来なさい。あそこの岩が見えますか？ 岩は、キリストの型。私たちの救いの岩。わたしはあなたにあの岩を打ってほしい。わたしはあの岩から水を出そう。今すぐ、わたしを見ていなさい。」モーセはそうしました。

モーセは杖を取り、岩を打ちました。イエス・キリストの十字架刑の型です。いのちの水が湧き出ます。十字架刑がために。全ては型でした。それは人としてのイエス・キリストを指し示す預言的な聖句でした。ですから、水は岩から湧き出ます。早送りして、どれくらいの長さかわかりません。そんなに長くないはずで。これはまるでデジャブの繰り返しだ。」偉大な神学者、ヨギ・ベラの言葉を引用。それは年配者向けです。若者は、その人物が誰なのかわかりませんね。再度、「これはまるでデジャブの繰り返しだ。」「私たちは喉が渇いている。エジプトには墓が足りなかったからのか？」彼らの歌の内容をご存知ですね。彼らは何度も何度も同じ歌を歌います。それは合唱です。彼らはそれを暗記しました。何小節か口ずさみ、私たちも加わる。それで神はこう仰います。「OK。モーセよ、こちらに来なさい。あそこの岩が見えますか？」

「はい。」「その岩に命じなさい。」（民数記 20：8参照）

「待ってください。岩に話しかけるのですか？ 前回は私に打たせ、、、」

「違う、違う、違う。打ってはいけません。すでに打たれています。あなたがせねばならないのは、岩に話しかけること。水が出てきます。」

で、モーセは何をしますか？ 頼みますよ、皆さん。モーセが何をするかご存知ですね。まず、モーセは激昂します。激怒します。彼は主張しました。実際、言い過ぎです。これは良くありません。

「いつまで『私たち』はあなたがたに我慢しなければならないのか？」「『私たち』？ モーよ、こちらに来なさい。この『私たち』って何ですか？ おお、あなたは、、、 ちょっと待ちなさい。自分をわたしと同じレベルに置いているのですか？ わたしたちは『私たち』ですか？」「神と私は、あなたがたには我慢の限界だ！ いつまで『私たち』は我慢するのか？『私たち』は、あなたがたに我慢しなければならないのか？」

(出エジプト・民数記参照) モーセは怒りのあまり、また岩を叩きます。大きな間違いです。なぜ？ 彼は類型を台無しにしたからです。どうやって？ イエスは一度だけ、十字架にかけられました。1度だけ岩を打つのです。十字架にかけられた後、岩に話しかけると水が湧き出ます。モーセは類型論を解体し破壊しました。「類型論」はあなたの牧師が真剣に取り組んでいること。ごめんなさい。ちょっと皮肉っぽかった。その代償は何かご存知ですか？「約束の地」です。「約束の地」を天国だとは思わないでください。それは違うからです。つまり、類型論的に言えば、「約束の地」は私たちが入る神の約束です。まだ戦わなければならない戦いがあったからです。勝利はすでに与えられていましたけど、「約束の地」を所有するためには、まだ戦わなければならないのでした。

で、それはクリスチャンの人生に類型論においてどのように適応されますか？ 私たちは、、、 神の御言葉には3000以上の約束があります。私たちはただその約束に入るだけです。神の約束を所有するためには、時に戦いが伴います。しかし、勝利はすでに私たちのものです。約束はすでに与えられています。私たちがしなければならない全ては、その約束に入ること。それが「約束の地」が象徴すること。今度から類型論について陰で私の悪口を言うときは、よく考えてください。それが言うべき全てです。いいえ、皆さんはそんなことはしません。大変優しいです。

それでは、先に進みましょうか？ 是非にと言われる人もおられますね。進みます。OK。では、しかし、いくつかですけど、指摘したいことがあります。理由は、留意ください。私はこのタイトルを、『携挙前の実践的な準備』という意味で選び使っています。なぜ？ ユダがここでしていることだからです。これが、あなたが準備できること。教会携挙で私たちを永遠の命へと導いてくださる私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望んでいる間に、ただ手をこまねいて待っているだけではありません。タタタタン♪タタタタン♪

(テレビ番組「ジェパディ！」主題曲) まず、何かをしている時、時間が早く経ちます。ユダが言うことで、これが待つ間にできること。あなたは準備できます。実際に、携挙前の準備する者になれます。なんてイけてるんでしょう？ ユーチューブチャンネルを立ち上げてください。「携挙前の準備する者」そんなチャンネルに登録するのは4人くらいですね。「携挙前の準備する者」とは何ですか？ 携挙の準備をしている人です。意味深なのは分かります。物理的な準備の話 サバイバル/生存の準備ではなく、いいえ！ 霊的準備です。これらは携挙前の実践的な準備です。私たちは携挙のラッパの響きを待ち望み、イエスのあわれみによって、イエスが御父の家で、私たちのために用意してくださっている場所へ私たちを迎え入れてくださる時を。

OK。で、これらの実践的な準備とは何か？ 私は3つ見つけました。皆さん、もっと見つけるかもしれません。3つ以下ではないでしょう。順番は以下の通りです。

1つ目: 自分自身を築き上げること。(20節)

2つ目: 自分自身を保つこと。(21節)

3つ目: 見極めること。(22節と23節)

私たちがこれに飛び込む前に、私たちは皆、私も含めて、特に私自身かもしれません。うまくいくためには、、、 聞いてください。私たちは皆、聖霊が私たちの心と意思の奥深くに自由にアクセスされるのを許すと、うまくいきます。私たちがこれを経験する時、特にこの勧告に関しては、それが本当の意味での勧告だか

ら。自分自身築き上げ、自分自身を保ち、見極めること。それがあなたがする準備です。その準備をするよう勧めています。私たちがキリストを拒絶するこの世から連れ出される前の最後の時間に、このことは重要な意味を持ちます。もうそんな長く待つ時間はありません。巻き戻しましょう。最後にもうひとつ、それから飛び込みます。巻き戻して、ある年を選びましょう。そうですね。1948年を選びましょう。イスラエルが奇跡的に、預言的に、国家として再建された1948年5月。あなたは新生クリスチャンで、「ユダの手紙」のこの箇所を読んでいます。自分自身築き上げ、自分自身を保ち、見極めること。主イエス・キリストのあわれみが、携挙であなたを永遠の命へと導かれるのを待つ間。私のポイントは？ 彼らは私たちよりもずっと長く待たされました。全くうまく伝わりませんでした。きっと期待していたのは、、、聖霊よ、導いていただけませんか、、、私がこう祈っているのはご存知ですね？ 神が私の説教とは違う説教を聞かされるように。実際、私はそうなることに頼っています。OK。1つ目がある20節、

1.自分自身を築き上げること。ここで、ユダは、聖霊に導かれ、私たちに励まし、勇気づけます。これに注目ください。私たちの最も聖なる信仰において、自分自身を築き上げること。聖霊によって祈ることで、自分自身を築き上げること。ユダが今ここで何をしたかお気づきですか？ 神よ、感謝します。ユダを導いてくださりありがとうございます。これが「事」の背後の「方法」だからです。どういう意味ですか？ ユダが書く方法によって、彼が書くことが、私たちに提供するの、私たちの最も聖なる信仰、聖なる御言葉の「何/事」を行うための聖霊の御方法です。これを説明させてください。どのように行うのですか？ 神の聖なる御言葉の中で、私がそうするよう勧められていることを。聖霊です。聖霊が、聖なる御言葉の「何/事」を行うための御方法を私に与えてくださいます。聖霊がご不在なら、方法/道はありません。それが唯一の方法です。それが、聖なる御言葉の「何/事」を行うための聖霊の御方法です。聞いてください。神は決してなさないことは、主がどなたであられ、どういうお方であるかに矛盾し、相容れないこと。主は、私たちに命じられたことを実行可能にされる御力を与えられずに、私たちに何かをお命じになることは決してありません。何とも、一言では言い表せません。わかったことを願います。繰り返すと息切れするので。どうやって私がそこに辿り着いたかわかりますか？ それが矛盾しているのは、、、神は私たちに何かをお命じになりこう仰ることはありません。

「OK。また連絡する。いいかい？ わたしはあなた方に、最も聖なる信仰のうちに自らを築き上げるよう命じる。後で様子を見に来る。最善を尽くしなさい。うまく行くのを願う。自分のことは自分でしなさい。」

私はこんなふうに、「いいえ! 待ってください! どうやって自分を築き上げればいいのか?」聖霊です。

聖霊によって祈ってください。それについては後で話します。多くの人が、私をこんなように見えています。

「いや、いや。話さない。」おお、はい、話します。聖霊によって祈るとはどういうことなのか、説明しますが、最も聖なる信仰の上に、自分自身を築き上げること。お気づきですか？ これと同じくらいシンプルなことです。神の御言葉と祈り、神の御言葉と祈り、神の御言葉と祈り。以上です。

その両方の組み合わせです。神の御言葉と祈りです。それがあなたを築き上げるために必要な全てです。カンファレンスは必要ありません。3ヶ月毎に発刊される39冊目の誰かの本を買う必要はありません。購読したり、サポーターになったり、特別会員に加入したりする必要はありません。19.99ドル/月の選ばれし者だけの購読とかね。いいえ、ただ神の御言葉と祈りが必要なだけです。どうすればそれが必要な全てだとわかるのか？ サタンはこの2つのことからあなたを遠ざけようと、あらゆる手を尽くし、手段を選ばないからです。それについて説明します。祈りを捧げようとしたとき、文字通り全ての地獄(大混乱)が起きるのはどういうことかわかりますか？ 電話が鳴り始めます。いつも間違い電話です。一警報音一

電話の電源を切ってください。電源を切る。どこかにやるとか。はい、どこかに、、、電源を切る。つまり、いや、消音にする。私は設定する必要がある。消音にして、置いて、あなたから遠ざける。パソコンの電源も切る。全部です。暗闇に行けば光が見えます。聖霊の静かで小さな御声が、あなたに語りかけられるのを聞いてください。聖なる御言葉を通して。あなたに語りかけられる御方法だからです。神の御言葉を通して。こういうことです。神はあなたの牧師のように叫ぶことはありません。神は静かで小さな精錬された御声で語られるからです。主の御声が聞こえないとしたら、それはあなたの人生の音量が大きすぎるからかもしれません。音量を下げる必要があるかもしれません。消して、主の御声が聞こえるようにしたほうが良



いです。主は常に語っておられるからです。問題は、「主が私に語りかけておられるか？」ではありません。

問題は、「私が主の御声を聞いているか？」です。もし私が人生の音量を大きくしたとしたら、主が私に語りかけられるとき、私は主の静かで小さな御声を聞くことができません。ある教師がいて、実は、同窓会で、

私はその教師に話し、、、彼は信者ではなく、少なくとも当時はそう認識していませんでした。その先生の名前はボウマン先生で、単調な声でした。ある人たちはそのような声で、、私が単調な声だったらと想像できますか？ おそらくこう祈っている人もいますね。「私の牧師を単調な声にしてください。」と。つまり、変動がないんです。すべて同じ調子で、単調な声。同じ調子で話すんです。単調、一本調子で、時には大変優しく非常に静か。ボウマン先生はそういう感じでした。授業初日、ボウマン先生が教室に入ってきました。その先生がこう言います。

「OK。クラスの皆さん、落ち着いて座ってください。これから始めます。」私に任せると、私はこんな感じで、「ねえ～～！！(叫ぶ)何て言いましたか？ 声を大きくしてください！ 周りがるさいから聞こえません！」OK。私がうるさかったんです。その先生が何と言ったかわかりますか？彼はこう言いました。

「いや、私は大きな声で話しません。これが私の話し方です。私の声を聞きたいですか？ あなたが静かにしなさい。」私にとって大変長い学期でした。合格するためには、彼の声が静かになって聞くしかなかったからです。聖霊にそうしなければなりません。聖霊の静かな小さな御声を聞くためには、音量を消さなければなりません。

聖霊によって祈るとはどういうことなのか、簡単に説明します。これには祈りの言葉、異言で御霊で祈ることも含まれます。私には祈りの言葉があります。特に、どう祈ればいいのかわからない時や、祈りの言葉を言葉にできない時は、自分の祈りの言葉でよく祈ります。言葉のない祈りで、実際は、うめき声です。聖霊はそのうめき声を受け止められ、私たちに代わって執り成してくださいます。聖霊は、、、つまり、私が叫んでいるのとは違う説教を神はあなたに聞かせられます。しかし、主はそのうめき声を受け止めてくださり、私たちが祈り方を知らない時に、私たちに代わって執り成してくださいます。それが御霊による祈りです。それが聖霊による祈りです。それは聖霊による祈りの言葉で祈ることだけに限りません。間違っただけのように、それが聖霊に満たされた唯一の証拠ではありません。「使徒の働き」には5つの記述があります。多くの方がこの件で混乱しています。これをはっきりさせた方がいいです。「使徒の働き」には、聖霊が「上に」＝ギリシャ語「エピ」臨まれ彼らを満たされた5つの記述があります。聖霊に満たされた、あるいはバプテスマを受けた証拠として、異言があったのは言わば、そのうちの2回だけです。残りの3回は？

言いますよ。大胆さ。バプテスマを受けたり、聖霊に満たされた証しは、「大胆さ」でした。ですから、誰かが私にしたように、あなたのところへ来させないでください。私は新しい信者で、公園で聖書を読んでいます。手放せず、飽きもせず、そこに座っていて、晴れた日に、公園の芝生の上で、太陽が輝いて、私は聖書を読んでいます。つまり、それ以上いいことはありません。ある男がやって来て、私にこう言います。

「気付いたんですけど、あなたは聖書を読んでいますね。」それは当然、見れば分かるでしょ。それで彼は私に質問を始めました。「聖霊を受けましたか？ 異言を話すことで証明されるように。」

私はこんな感じで、なんてこと。まだ読み始めたばかりなのに。私はこんなふうに、、、「私は、、、ありません。」私は舌はあります。私はまだその部分を読んでいませんでした。理由は、私がしたことは、、、これをしないでください。私は旧約聖書から読み始めました。それは残酷でした。特に「レビ記」に入ると。私たちが勧めているように、「ヨハネの福音書」から読み始めませんでした。私は「創世記」から始め、私は「出エジプト記」「レビ記」を読みます。「出エジプト」はかなり良かったです。「レビ記」：奇妙です。「民数記」「申命記」、一体全体、律法の繰り返し。私はこんな感じで、、、私は白紙状態です。心に留めて自分自身に考えます。「冗談でしょ？ 罪を犯すたびに犠牲がいる？ たくさんの家畜がいる。」つまり、私は教会を車で通り過ぎ、駐車場で家畜がどこにいるか探します。誇張しているわけじゃありません。実際にそうしました。それくらい、私は頭が真っ白でした。知りませんでした。ただ、思いました。それは抑止力と呼ばれます。私は、罪を犯したくありません。もし私が罪を犯すなら、犠牲が必要だからです。新約聖書を読み、私はこんな感じで、

「おお！今わかりました。イエスです。おお、イエスよ、感謝します。あなたが犠牲でられます。その必要はない！ わお！ ほっとした！」とにかく、そこが何か意味深であなたに伝えたかったことは、おお、そうだ！ で、その男が私のところに来てこう言いました。

「聖霊を受けましたか？ 異言を話すことによって証明されるように。」それで私は混乱しました。そして突然、自分が本当に救われているのかさえ疑い始めました。異言を話さなければ、聖霊はおられず、本当に救われいないかもしれないという意味合いだったからです。泣いたことを覚えています。ちょっと待つてと言う感じでした。本当に救われるためには何をせねばならないのか？ で、私は家に帰りました。私はこんな感じで、「OK。(ボソボソと話す) ホンダ、ホンダ、あ〜だ、こ〜だ、そ〜だ、ホンダ、トヨタ！」ー (笑) ー うまくいきませんでした。実は、それから何年も経ってから、文字通り、主の御前でひれ伏し、ただ主に向かって叫びました。聖霊によってバプテスマを受けるために主に求めました。聖霊が力強く私の上に臨まれました。まず、私は瞬時に癒されました。私は病気だったからです。私は床から起きて、立ち上がり、後ろを振り返りませんでした。私の人生には新たな力と純粋さがあり、大胆さがありました。ほお〜、大胆さです。つまり、私は聖霊の力によって溢れんばかりに満たされていました。あなたの人生は、生ける水の奔流のようになります。洪水がどれほど強力なものか見たことがありますか？ 洪水は爪楊枝のように家を運んで行きます。それが聖霊であり、聖霊の御力です。ギリシャ語で「ドゥミナス」、英語のダイナマイトの語源です。サッと描写します。説教に戻り、学びをしますからね。これは素晴らしく、良いことです。この描写は私が考えたものではないからです。あなたは浜辺にカヌーを持って行き、砂の上に置き、海に入りたい。それで、全ての友達、兄弟を呼んで、「おい、これを押して、海に入れよう。」うー、うー、うー、、、大変難しいです。潮が満ち、水がやってきます。力を入れることなく、小指で楽に押して、水の力でカヌーを水の中に押し出せる。それがイエスの仰ることです。

「わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことはありません。」(ヨハネ 4：14 参照)

しかし、あなたの人生は力強い生きた水の奔流のようになります。聖霊に満たされるなら、聖霊の御力を得ることができます。それは大変力強いのです。それは、神の御言葉の「何/事」を行う力を与えてくださいます。聖霊が祈る力を与えてくださいます。聖霊が神の御言葉を読む力を与えてくださいます。また、聖書を読もうとすると、敵はあなたが決して知らないような眠気をもたらします。夜、なかなか寝付けませんか？ リモコンを置き、テレビを消し、聖書を開く。:(いびきの音) 想像できますか？ 地獄から悪魔はこんなふうに、「おお、だめだ！ 聖書を開いた。奴を眠らせるぞ。」ボン！ ー (笑) ー もう一步踏み込んでもいいですか？ なぜかわかりますね？ 自分に話します。神の御言葉の教えの下に座っていて、このようなことが起こったからです。サタンが私に聞かせたくない特定の箇所がありました。突然、どこからともなく私はこうなります。(眠気が来る) まぶたを開けておくためにつまようじが必要になります。それが敵です。敵はあなたにそれを聞かせたくありません。敵はそれをあなたに聞かせたくありません。それがあなたを築き上げる決め手となることを知っているからです。御言葉のうちで時間を過ごすと、御言葉の中に入り込み、御言葉が自分のうちに入って来ます。どれほど高められることでしょうか？

「信仰は聞くことから始まります。聞くことは、(神) キリストについてのことばを通して実現するので。」(ローマ 10：17 参照)

それがあなたが築き上げられる方法です。それがあなたの信仰、この最も神聖な信仰を築き上げる方法です。その御言葉に入らねばなりません。それがいのちのパンです。あなたが弱く、飢え、ひ弱なもの無理はありません。神の御言葉を食べる必要があります。神の御言葉なしの1週間(week)、その人を弱く(weak)する。week(週)/weak(弱い)を書いてみてください。書いてみないとね。W-E-E-K (週) / W-E-A-K (弱い)。なぜ自分がそんなに弱いのか、一目瞭然です。

「霊は燃えていても肉は弱いのです。」(マタイ 26：41 参照)

肉はなぜ弱いのか？ 私が養われていないからです。いえ、霊が弱いのは、養われていないからです。霊は子羊のようであり、肉は獅子のようです。その獅子はいつも昼食に子羊/ラムチョップを食べます。もし私が獅子(肉)を飢えさせ、子羊(霊)を養ったら？ その獅子は立ち上がることさえできません。子羊が歩いて行って、こう鳴きます。バハハハハハハ！ やりすぎでしたね。聖霊の御方法は、聖なる御言葉の「何/



事」を行う力を私たちに与えられ、それは自分自身を築き上げることであり、神への祈りと神の御言葉に伴います。大変シンプルです。

最後にもう一度、なぜサタンは、あなたが神の御言葉を読みたい時、神と時間を過ごしたい時、祈りの時間を過ごしたい時、サタンはあなたがそうできないように、あらゆる手を尽くします。それが物語っていますね？ 神の御言葉と祈り。自分自身を築き上げること。自分自身を保つこと。これについて話す必要があります。理由は、ここ21節において、多くの聖書教師たちは、ユダの先例のおかげで、それが手紙全体の中心的な焦点であり、唯一の目的であるとさえ見えています。言い換えれば、ユダが言及する誰もが、自分自身を保っていない例です。カインがアベルを殺したところから始まります。；それはカインが彼自身を保つための選択でした。これを誤解しないでください。自分が救われ続けなければならない、とは。それはユダがここで書いていることとはまったく違います。ユダがここで書いているのは、古い賛美歌の引用で、このバリエーションでは、神の愛のうちに自分を保つことは、神の愛が溢れ出る注ぎ口の下に自分自身を保つこと。ユダが用いる例はすべてで、8つあり、その1つひとつがその注ぎ口の下にいたのに、そこから外れることを選んだ。神の祝福される時、神の愛が溢れ出るところにとどまってください。あなたを保ってください。あなたを保ってください。あなたを祝福し、あなたを愛してくださる方のうちに。つまり、これが手紙全体の焦点です。自分自身を保つこと。神の愛から自分を遠ざけない。特に今。どういう意味ですか？ 神の祝福、あわれみ、恵み、愛、慈悲、そのすべてが溢れ出るその注ぎ口の下に私たちが留まる必要がある時があるなら、その時は、今です。そう、私たちは自分の危険を顧みず、神の愛の外に出る傾向があります。自分自身をそのうちに保ちません。自分自身を築き上げることを忘れます。あなたは自分自身を保ちません。そう、これらのことは私たちの責任です。その責任は私たちにあります。神の愛はそこにあり、聖霊はそこにおられ、神の御言葉はそこにあり、神の愛はそこにあります。問題は、私たちは神の愛がある場所にいますか？ 木曜日の夜について、第一礼拝の「聖書預言・アップデート」で触れました。主の御心なら、「エゼキエル書」47章と48章を終える予定です。聖餐式にも与ります。真夜中までにはここから解放します。パジャマと歯ブラシを持参すること。が、最後の最後、ここで、木曜夜の聖書の学びに私が選んだタイトルは、「エゼキエル書」最後の48章の最後の4つの御言葉です。最後の4語はすべて大文字。絵文字があれば、それに絵文字もつけることもできます。大文字で4語。：“THE LORD IS THERE.”

『主はそこにおられる。』終わり。主がそこにおられる？ じゃあ、私もそこにいる。ひっくり返してみよう。いや、主はそこにおられない。じゃあ、私もいない私の意味がわかりますか？ 私は主がおられるところにいたいのです。私は主の祝福が溢れ出るあの注ぎ口の下にいたいのです。私はそこに留まりたいのです。主がそこにおられないなら私は行きたくありません。主はそこにおられますか？ 私はそこにいます。私はそこに留まります。私を追い出せませんよ。私を追い出そうとしても、私はここに留まります。私を追い出すことはできません。それが神の愛、神のあわれみ、神の祝福が溢れ出るところなら、そこが私のいるところです。いや、でも、ここに敵がいてこう言います。「ねえ、これを見てよ。」「お～お!」知らないうちに、私たちは立ち去り、わかり易く言えば、離れていき、今や、私たちは、神の愛のうちに自分自身を保つよう戒められ、論されているその注ぎ口の下から外れます。何年も前、本土にあった私の教会では、事務局のスタッフの1人が私に言いました。子育てについてです。素晴らしい家族、素晴らしい子供たち、主を愛し、こんにちまで主とともに歩んでいます。彼は子供たちに愛の輪について教え、それを描いてみせると言いました。これは私のような視覚的な人間には特に役立ちます。彼は輪を描き、その輪の中に、：神、母、父、愛。そして彼が描く2つの小さな点は、：息子と娘。彼はこう言いました。「OK。君たちは愛の輪の中にいるんだよ。離れていきたいかどうかは君たちの選択だ。その輪から外れたら、その愛からも外れることになる。それは君たちの選択で、君たちが決めること。」ポイントは、その輪の中にいること。それが、範囲/領域です。それが境界線であり、言わば、ゴールポストです。その内にあなた自身をとどめ、保ってください。ここに実に巧みな示唆があります。それは必ずしも容易なことではありません。このように見えます。「うん、問題ない。」違います。それは問題です。神がユダを導かれ、私たちに励まし神の愛のうちに保つように勧めさせるという事実によって。つまり、私たちは神の愛から外れてしまう傾向があるということ。

さもなくば、なぜユダはわざわざ私たちに自分自身を保つように勧めますか？ 私たちは皆、どうにかして外に出ようとする傾向があります。それは非常に巧みに起こり、時には知らないうちに、無意識に、罪がないようさえあり、弁解だけでなく、説明すると、つまり、時間が経つにつれ起こります。自分がどれほど遠く離れたのかに気づきません。振り返って認識するまで。「うわあ、どうやってここに来たのか？ どう

やって戻ればいいのか？」それが「ヨハネの黙示録」2章です。エペソの教会に宛てた手紙です。

エペソ人の教会。留意ください。これはあなたが初めの愛を「失った」のではありません。それなら探しに行かなければなりません。違います。あなたは初めの愛から「離れてしまった」のです。(黙示録 2:4 参照) どうやって私はその愛に戻るのか？ その愛のうちに自分自身を保つべきでした。どうすればあの愛のうちに戻れるのか？ 私は離れてしまったから。思い出す、繰り返す、悔い改める。いや、あなたは思い出し、、、長い1週間でしたから。もう一度してみます。もう一度チャンスをください。思い出す。悔い改める。繰り返す。完璧な3点説教の入った、包装済み。3点説教の缶詰：「ヨハネの黙示録 2章」思い出してください。初めて恋した時のこと。つまり、あなたが恋をしていた時、あなたはこうでした。まず第一に、誰もあなたたちのそばにいることに耐えられませんでした。初めて恋に落ちた時、あなたは大変滑稽で愚かでした。互いの話し方さえも。あなたは彼女のためにドアを開けました。彼女の手を握りました。ああ、、、初めて恋に落ちた時は。数年が過ぎると、、、あなたはもう彼女のためにドアを開けません。もっとうこうです。：「(怒鳴って) 乗れ! どうしてそんなに時間がかかるんだ? 遅れるぞ。どうしたんだ?!」そしてドアをバタンと閉める。もう彼女の手を握ることはありません。あなたは彼女の前を歩く。彼女に花も買わなくなった。それについての歌がありませんか？ ですから、はい、最初はどんな感じだったか覚えています。これがあなたの初恋だからです。ですから、私は思い出します。今、私は何をするのか？ 悔い改めます。「悔い改める」とはどういう意味か？ 180度変わる。あなたは変わる。180度転換。思いを変えること。思い出す。悔い改め、180度転換。そして繰り返す。どういう意味ですか？ 初めの行いを繰り返すこと。初めの行いとは何ですか？ 初めに行ったこと。愛のうちに初めてあった時のあなたの初めの愛と共に。「そんな気分じゃありません。」第一礼拝でこれについて話しました。「そんな気分じゃありません。」感情は後からついて来ます。初めに行ったことをしなさい。あなたが戻って行く愛は、ただ溢れかえり、また押し寄せて来ます。ただ初めの行いを繰り返してください。夫の皆さん、話せますか？ 妻の皆さん、少々お待ちを。これは男のことです。私は本土の友人にある提案をしました。私はこう言いました。「最後に彼女に花を買ったのはいつ？」彼は、「あれは1970年だったか？」私は「もういい。花でも買ってあげたら。」彼が私に何と言ったかわかりますか？ 神が私の証人であられるように、私を驚かせました。「僕が妻に花を買って、それを持って玄関に入ると妻が僕に何を言うかわかるか？『あなた、何をしたの?』」私はこうです。「おお、大変悲しい。」本当? そんなことになっちゃたの? 最後に彼女のためにドアを開けたのはいつですか？ 彼女はあなたをこう見るでしょう。「私の夫に何をしたの? あなたは誰? 詐欺師?」彼女のためにドアを開けてあげてください。私は妻を医者に連れて行きました。私は彼女のためにドアを開けました。告白しなければなりません。; しばらく開けていませんでした。おお、なんということ。彼女は手を差し出し、私たちは手をつなぎました。私たちは結婚して35年になります。長く連れ添ったカップルが手を取り合っている姿ほど美しいものはないですね? 生理学的なことをご存知ですか? ちなみに、これは追加料金なし。生理学的なことで、ホルモンや化学物質が分泌されるんです。オキシトシンと呼ばれるもので、オキシコンチン(鎮痛薬)ではありません。オキシトシン: 触れる化学物質、愛の化学物質。エンドルフィン、他の全てのものが分泌されます。それは置いておきます。触れる、ハグをする、手をつなぐ時。何年も前、前世紀、前世紀の変わり目に、ある孤児院で、そこで赤ちゃんがみんな死んで行きました。その理由が分かりませんでした。そこで、何人かの専門家を呼びました。専門家が言うには、問題は、赤ちゃんたちはベビーベッドに寝かせているだけで、誰も抱っこしていなかった。彼らは抱っこし始めました。変え始めました。赤ちゃんを抱っこし、触れ、愛し、キスし、抱きしめました。もう赤ちゃんは死にませんでした。それが神が私たちを造られたご方法です。あ〜サッと。↑有名な最後の言葉。2021年に戻ります。ここで大変気をつけます。ユーチューブやフェイスブックに流れているからです。2021年、「ソーシャルディスタンス」と言いましたね。プレキシガラスを設置し、「6フィート間隔」にしました。6? 5ではなく、7でさえもない。6。6フィート間隔。歌うな。息をするな。話すな。触れるな。それが、神が私たちが健康にするためにさせられること。生理的、感情的、心理的、霊的に何かが起こるのです。あなたが触れたり、愛したり、ハグしたり、キスする時に。パウロはこう言います。

「聖なる口づけをもって互いにあいさつを交わしなさい。」(II コリント 13:12 参照)

私の国では習慣です。頬にキスします。何度も。男性は、奇妙です。しかも1度だけではありません。2度で、もう十分なのに。頬が真っ赤になるほどで、それが彼らの愛情の見せ方です。ここハワイの文化、アロハ、愛、ハグ、キス。これらすべて、私たちのために神がご設計されたこと、互いに触れ、互いに一緒にい

て、互いに愛すこと。主と共にいることはどれほど重要でしょうか？神の愛のうちに自分を保つこと。主から遠ざかることは実践しない。主の愛のうちにあなた自身を保つことが必要です。OK。最後の1つで終わります。22節と23節にあります。一番いいものを最後にという感じです。あと1時間必要ですけど、ここで最善を尽くします。

3.見極めること。これにはいくつか興味深い理由があり、おもに、ユダは内側から外側へと向かいます。どういう意味ですか？ 私たちが築き上げられ、保たれる時、私たちは他の人たちにおいても築き上げられ、保たれます。しかしながら、そのためには、鋭い霊的識別力が必要です。23節の最後にお気づきですか？節の最後です。つまり、あなたの衣服が彼らの汚れた下着で汚れないように。その箇所は、誰も人生の聖句にはしません。壁に貼ったり額縁とかにね。これは私の、、、わお。神はこの聖句を通して本当に私に導かれました。どういう意味なのか？ その箇所が言っているのは、この人たちにどう対処するかを見極めるには、3つの方法が必要だということ。最初の人たちは欺かれた人たちです。慈悲深く対処する必要がある。彼らには細心の注意を払い、愛情を持って接すること。彼らには慈悲を。彼らは騙され、欺かれ、惑わされ、忍び込んできた者たちによって迷わされました。今、彼らは戻りたいのです。彼らを回復させる必要があります。彼らには慈悲を。他の人たちには、もう少し毅然とした態度で接する必要があるかもしれません。彼らは火に向かっていてからです。彼らを火から救い出す必要があります。そうするほど、あなたは彼らを愛しているからです。そう、あなたが私を愛していることはわかります。もしあなたが、私と一緒に、私のために、困難なことをしてくれるなら、

「愛する者（友）が傷つけるのは誠実による。」（箴言 27：6前半参照）彼らは信頼できる。しかし、私が聞きたいことしか言わないなら、あなたは私の敵です。「憎む者は多くの口づけでもてなす。」（箴言 27：6後半参照）

あなたは私の友じゃありません。あなたは私を愛していない。そう、私を愛しているなら、あなたは私に真実を話します。愛のゆえに、愛をもって真実を語るからです。はい、それは痛いですが。でも、私があなただったらこう言ってほしいということをお話します。あなたを愛しているからです。私はあなたに真実を話すことによって、私たちの友情を危険にさらすほどあなたを愛しています。

「あなたが進む道、進む方向は、あなたにとって良い結果にはならない。」面と向かってそれを言うほど、私はあなたを愛しています。この後、あなたは私の本音を嫌い、SNSの友達を解除するのはわかりますけど、私はまだあなたを十分に愛し、そのリスクを負うことも厭いません。で、あなたは彼らに真実を話します。：「あなたが進んでいる道は、あなたにとって正しいように見えるけれど、

しかし、その道は、死に至る道です。あなたは道を間違えている。」私はそれを言うほどあなたを十分に愛しています。時には毅然とした態度で臨まなければなりません。それを「屈強の/タフな愛」と呼びますが、それ以上のものだと思います。それは厳しい真実です。そして負傷し、傷つきます。最初は恨まれるかもしれませんが、いずれは感謝されます。逆に、お世辞ばかり言って、多くの口づけでもてなせば、彼らは感謝するかもしれませんが、いずれは必ず、恨まれることとなります。なぜ本当のことを話してくれなかったのか？ なぜ何も言わなかったのか？あなたは私を愛していないに違いない。それは自己愛です。それがあなたが私に言わなかった理由です。あなたは私を愛していないに違いない。本当のことを言いたくないのなら、あなたは私を愛していない。妻は私を大変愛しているのがわかります。彼女は、、、OK。いいです。今日はこれで十分です。ハニー、私たち、、、ただ、、、うお、うお、うお。男が我慢できることは限られています。イタい。ですから、再度、あなたが慈悲深くあるべきだと見極めた相手には慈悲深く、彼らに大変優しくしてください。（謙虚で）柔和な心でその人を正してあげなさい。（ガラテヤ 6：1参照）

気をつけてください。これが3つ目の見極めです。彼らのうちのある人たちは、、、おお、これをどうするのか？ 聖霊よ、助けてください。あなたが見極めるのに、気をつけなければならないのは、、、これが、パウロが「ガラテヤ人への手紙」で語る理由で、気をつけなさい。彼らが汚したものによって、あなた自身が汚されないように。私はしません、、、、そうせねばならないかもしれません。原文にあります。下着を汚した体液。OK。言いました。それが真実です。もっとうまく言えたかもしれませんが、それが、ユダがここで書いていることです。それは使徒パウロが語ることを反復します。あなたは進み、このことをよく見極めてください。特にこの集団は。ここには3つの集団があるので、区別して見分ける必要があります。この

3つ目の集団には細心の注意を払ってほしいのです。あなたは彼らに真実を語り、彼らを回復させ、神の愛が溢れ出る注ぎ口の下に戻そうとし、しかし、その過程であなた自身がつまずかないこと。そこに誘惑があるからです。彼らが汚したりシミをつけたもので汚したりシミをつけないように。さらにもう一步踏み込みます。そして、締めくくります。これは靈的に成熟したクリスチャンのためです。なぜ？ 靈的な識別力が必要だからです。それは決して、、、つまり、神は、確かに主の恵みにおいて、必要な時に必要な識別力を与えることがおできになります。しかし、それは靈的成熟に伴ってもたらされます。聖霊と同調し、神の聖なる御言葉で見分ける靈的識別です。どのように対処するのかわかります。それが見極めであり、成熟と伴います。ですから、その状況や人に対処するために注意深く祈ることで、最善の方法がわかります。彼らを変え注意深く扱わなければならないからです。注意深くなってください。気をつけてください。あなた自身のために注意を払ってください。この特定の人物が、逆にあなたをつまずかせ、汚しかねないからです。これが最後だと言ったのは分かっていますが、これが最後の最後です。私が注目し、皆さんにお伝えしたいのは、慈悲深い見極めです。理由は、私たちは堅固な部分には問題はないと思います。つまり、私たちはそれが得意だから叱咤激励される必要はないと思います。つまり、それを押さえました。私に聞いてください。私にやらせてください。それは私が引き受けます。私たちが見極めるのは3つ目の集団かもしれません。しかし、最初の1つ目はどうですか？ つまり、この人たちは傷ついています。彼らは騙されています。まず最初に、彼らが内向きになり、騙されたこと、騙されやすく世間知らずであったことに腹を立てているのを知らなければなりません。すでに自己嫌悪に陥っています。今、あなたはそこに入り重箱の隅をつつきませんね。先日、ある人に言いました。私は言いました。「助けは必要ありません。私に厳しくする必要はありません。自分自身は本当にいい仕事をしているからです。自分自身に本当にきついです。助けは必要ありません。つまり、それをよく理解しています。助けが必要なのは、慈悲の部分です。ただ慈悲、優しさ、恵みを示すことです。」

この人たちは傷ついていて、回復させる必要があるからです。彼らに一番あり得るのは、暴言を言われること。「この愚か者め、、、」私はここでまた自分をさらけ出すことになります。それが自分自身に思うようなことです。：「この愚かで間抜けめ。」妻は私に尋ねます。「どうしてそんなことをしたの？」私の答えは、私は学んでいます。結婚して35年。「愚かで、間抜けだから。それが私がそれをした理由だよ。」OK。

もうひとつだけいいですか？ いえ、これはこれは良い。それだけの価値があります。ある日、妻が夫に言います。夫は妻に言います。「それほど美しい人から、どうしてそんなに愚かなことが出てくるのか？」

それに対して妻はこう答えます。「まあ、ハニー、神が私を美しく造られたから、あなたは私と結婚したのよ。神は、私を愚かに造られたから、あなたと結婚したのよ。」—（笑）—

今のうちに止めます。デビッド、上がって来ててください。ご起立ください。私が思いつく最高の終わり方でした。OK。ここで聖霊の登場です。主よ、私は最善を尽くしました。あとはあなたがなさる必要があります。これは良い教訓、ここには多くがあります。もっと時間をかけて理解する価値があることかもしれません。これは聖霊が来られ、私たちが切実に必要とする聖霊の「御方法」で、主よ、ここから先はあなたにお任せします。これを私たちの生活に適応してください。私たちの心にこのことを祝福してください。神よ、私たちにこの恵みをお与えください。これは、私たちがこの終わりの日に生きている時点で、大変適切だからです。オンラインで見ている誰かが、自分自身を保ったり、築き上げていないのかもしれませんが。他の人を育てたり、人を自分自身に取り戻す必要性への見極めを忘れていないのかもしれませんが。主よ、彼らを励まし、回復され、愛してくださいませるか？ 主よ、私たちすべてを、私たちが築き上げてください。私たちが待ち望み、準備している間に。私たちが靈的に強く築き上げられることを望みます。私たちが保ちたいのです。待っている間に。そうすれば、ラップが鳴る時、準備万端です。主よ、この箇所をありがとうございます。私たちに心に祝福を。イエスの御名によって祈ります。アーメン。